

令和7年度 江戸川区立東小松川小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	ひがこまっ子は みんななかよし 夢がある ○思いやりのある子 ○考える子 ○やりぬく子 ○じょうぶな子	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・子供の主体的な学習力を高められる学校 ・教職員が子供の目指すべき社会人であり、教育者である学校・地域・保護者すべての人と人とのつながりを大切にできる学校
前年度までの本校の現状	成果 校舍改築のために制限された教育活動ながら、竣工記念式典や関係行事を滞りなく実施でき、皆で喜びあえた。	課題	制限ある仮校舎生活での安全・安心な学校生活の維持と各種の教育活動の保証。特に全体的に低下した体力問題。さらに充実した創意・工夫した教育活動の実施とタブレットによるオンライン学習や公開の効果的な実施。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己（学校）評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実 ○本校の取組 ・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「区学力定着度調査」等による定着度の分析と課題の克服 ・よむYOMUワークや読解プリントによる読解力の向上 ・教科担任制の導入 ・一人一台端末を活用した個別最適な学びの実現・東京ベーシックドリルの活用	・教員相互の授業観察と改善 ・補習学習の実施 ・都学力調査、区学力定着度調査、東京ベーシックドリルの活用と分析、改善策の実施 ・第5・6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の実施 ・定期的なよむYOMUワークや読解プリントの実施による読解力の向上 ・タブレット等のICT機器の効果的な学習活用と教員研修の実施	教職員評価アンケート達成90%以上	B	B	B	・教員アンケートでは、ほとんど全ての項目で8割を超える達成率だが、「漢字・計算習熟度8割5分以上の児童が9割以上」と「習熟度8割未満の児童の習熟度2割アップ」が未達成で課題が残った。	A	・ベーシックドリルの活用による学力向上に努めている。また、高学年においては、学年担任の先生が、クラスの垣根を越えて幅広く指導にあたっての様子があり、効果的である。 ・全体的に70%前後で、項目によってはそれ以上の達成率で素晴らしいと思います。	B	・都学力調査、区学力定着度調査、東京ベーシック等では着実な伸びが見られた。特に国語は、よむYOMUワークや読解プリント等の効果かと平均を超えた。 ・第5・6学年の教科担任制、学年学級間の担任単元交換指導の実施で児童理解が深まった。	B	・保護者アンケートの結果も評価が高く、努力されている。 ・東京ベーシック等の取り組みにより、着実に成果が上がっている。 ・午前中40分5時間授業の教育課程編成実施で学習時間コマ増加を図りが区s力向上を目指す。 ・平素の学習記録の蓄積と収受度の分析記録、都学力調査、区学力定着度調査、東京ベーシック等の分析から課題克服を推進する。	
	・読書科の充実	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実]○本校の取組 ・(読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実 ・区立図書館との連携	教職員評価アンケート達成80%以上児童・保護者評価アンケート達成 80%以上	B	A	B	・タブレット等のICT機器に探究の方法が多く、読書本来の面白みを引き続き訴えていきたい。	B	・最近の傾向の通り、読書については、達成率が低いようなので、力を入れていくことが大切だと思います。 ・読み聞かせ等による積極的な取り組みが見られる。 ・高学年では読書に進んで取り組む部分が少ない課題がある。	A	・バーコード化が実施され、図書管理が進んだ。 ・新校舎での図書館で整備と利用が活発になった。	A	・教科書の問題があるが、タブレット利用について検討してほしい。 ・新校舎での図書と活字を多く見えています。 ・バーコード化の実施、読み聞かせの継続努力により、利用も活発になった。	・バーコード化が実施され、図書管理が楽になった。 ・タブレットとの使い分けを図りながら、探究活動の充実と読書の楽しさを味わわせる。
体力向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ○本校の取組「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実 ・休み時間を活用した「運動遊び」の全校指導 ・体育科指導の充実(限りある活動場所内で) ・縄跳び運動を活用した体力の向上	・体力向上のためのウッキウキタイムの実施 近隣スポーツ公園、公園を活用した体育学習や休み時間の運動遊び ・体育学習の指導改善 ・近隣校との連携での体育的活動や行事開催 ・縄跳び運動の奨励(奨励動画・学習カード)	教職員評価アンケート達成80%以上児童・保護者評価アンケート達成 80%以上	B	B	B	・1学期末まで校庭が使用できない分、校舎内スペースを活用して運動能力向上機会としているが、体力維持が現状である。	B	・新しい校庭でのびのび体を動かす児童の姿が見られる。 ・これまで校庭が使用できない中、創意工夫をされて体力向上の取り組みをされていた。	B	・校庭や体育館を有効に活用し、行間体育などにも工夫を加えて日常定期的に体を動かすことの心地よさを児童に味わわせていく。休み時間は多くの児童が校庭で体を動かして遊ぶ姿が見られた。	B	・数年間にわたり校庭が使用できなかったために、子供たちの体力の低下はやむを得ない状態であったが、先生方は、体育指導をはじめ、様々な工夫と苦労をしていくれた。今後は新しい校庭を有効に活用し、以前のような体力をつけてほしい。	・年間を通じた運動遊びの開発やなわとびの取組、体育学習の質の充実を図る。
推し進めたい社会教育の現状	<特別支援教育の推進> ○本校の取組 個々の特性に応じた指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・配慮を要する児童等の自立に向けた支援の家庭や関係機関との連携 ・復籍交流児童との直接・間接交流の実施 ・ひがこまルーム、多目的室等のエンカレッジルームの活用促進	教職員評価アンケート達成90%以上	A	A	A	・保護者や関係機関と連携して、多様な困り感をもつ子供たちに、最適と思える学びと受け入れを展開できている。	A	・様々なお子様に配慮しながら、特性に合わせた指導をされている。 ・難しい問題もありますが、大切な項目なので地道に対応をおこなっていただきたい。	A	・保護者や関係機関と連携して、多様な困り感をもつ子供たちに、最適と思える学びと受け入れを展開できている。 ・復籍交流も計画通り実施した。	A	・子供たちに合わせた対応をされている。 ・個に応じた対応が丁寧に行われている。	・今後も保護者や関係機関と連携して、多様な困り感をもつ子供たちに、最適と思える学びと受け入れを展開する。
応い不のじ登校校実対	<子どもたちの健全育成に向けた取組>・不登校対策の実施・充実・教育相談の強化・hpaer-QUの活用	・「江戸川っ子・家庭ルール」「ひがこまスタイル」の推進・定着(ハイパーQUテストの活用) ・関係諸機関との協力・連携	児童・保護者評価アンケート達成 90%以上	A	A	A	・今後も自己肯定感を高めて、より広く深い友好関係を築けるようにしたい。	A	・いじめ対応などしっかりと対応している。	A	・今後も自己肯定感を高めて、より広く深い友好関係を築けるようにする。	A	・先生方の指導の成果が、思いやりのある子が増えているように感じる。	・今後も自己肯定感を高めて、より広く深い友好関係を築けるようにする。
学校地域社会連携の現状	<自校(園)の取組の積極的な発信>・学校(園)ホームページの充実等・学校(園)公開の実施・充実	学校HPの定期的で教育的なトピックに応じた情報提供を随時発信し続ける。 ・各学年の取り組みの紹介	保護者評価アンケート達成 80%以上	A	A	A	・今後もHPをはじめ、情報発信に努めていく。tetoruでは、諸連絡では有効だが、調査回収率が高まらない。	B	・学校HPを更新され、しっかり情報提供がされている。 ・HPの情報提供、tetoruの活用がきている。	A	・保護者評価では、数値目標を達成しているが、今後もHPをはじめ、情報発信に努めていく。	A	・HPの活用をもっと行うことができれば良いと思う。	・今後もHPをはじめ、情報発信に努めていく。
	<学校関係者評価の充実>・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・児童・教師・地域、保護者の3者からの学校関係者評価を年2回実施、分析、公表(保護者分) ・学校公開や各種行事でのアンケート実施と分析、改善	児童・教師・保護者評価アンケート回収率達成 80%以上	A	B	A	・3者からのアンケートを有効に活用している。	A	・細部までアンケート結果が分析されている。 ・いろいろな意見を聞くことは大切だと思います。	B	・3者からのアンケートを有効に活用している。項目により評価に違いが見られる。回収率を高めてより有効な指標にしていきたい。	A	・保護者アンケートの回収率を上げたいが、アンケート自体は丁寧な項目立てで有効である。	・3者からのアンケートをより有効に活用するために評価項目の精査を図る。
特色ある教育の展開	<地域の教育力を生かした教育活動>地域の特色や人材資源を生かし、生活・総合的な学習を中心とした探究・体験活動の実施	・蓮田学習や地域産業を中心とした体験的学習の実施 ・地域材を生かした学習活動の新たな開発 ・区グリーンプラン推進校として、特色の蓮田栽培等を中心とした体験・探究活動と環境教育	児童・教職員評価アンケート達成 90%以上	A	A	A	・蓮田に限らず、工場や花火、福祉施設、モーターボート場等地域の教材化が進んでいる。	A	・地域の方々と連携しながら、蓮田学習を根付かせている。 ・季節性を重視した対応をこれからもお願いします。 ・蓮田での地域交流がきている。	A	・蓮田に限らず、工場や花火、福祉施設、モーターボート場等地域の教材化を図ることができた。	A	・蓮田を中心とした地域連携がきている。 ・蓮田での地域交流がよく行われている。	・蓮田を中心に、工場や花火等地域のさらなる開発と教材化を図る。